

1970. 5.24



No. 136

5月号

住民登録人口

昭和45年5月1日現在	対前月比
総人口 25,680人	17人増
男 12,691人	18人々
女 12,989人	1人減
世帯数 5,538世帯	22世帯増

壬生町政だより

発行所

埼玉県壬生町役場

(毎月24日発行)

昭和34年8月30日第三種郵便物認可

一部 5円60銭



しめやかに佐藤町長の葬儀

佐藤町長の葬儀は、5月17日午後2時から中央公民館で壬生町、県郡町村会、県建設業協会、佐藤工業の合同葬で行なわれました。

この日は、県内外の政財界人約5千人が参列してしめやかなうちに盛大でした。

また、町長の死を悲しむかのように朝からの雨で参列者の涙を誘った。

菊の花で飾られた祭壇中央には佐藤町長のありし日の元気な写真が飾られ、葬儀委員長の荒川三男助役の告別の辞のあと、船田衆議院議長、横川知事をはじめ全国町村長、全国建設業協会長、県議会議長、県町村会から弔辞をのべられ、このあと佐藤総理大臣はじめ故人をいたむ人たち約300人からの弔電を読み上げられ政財界に残した故人の功績を称えました。

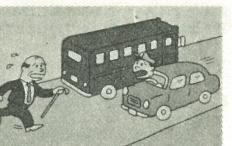
参列者は、式場にはいりきれないほどで入口近くに設けられた焼香場で故人に別れを告げた人もたくさんありました。

6月の納税

お忘れなく

町県民税 第1期分
国保税 第1期分





受付はいつでも

一日一円であなたを守る

交通災害共済

して災害を受けられた方々を救済する方法として、この「交通災害共済制度」ができたのです。これはわざかな掛金で、交通事故をうけたときは、県民総ぐるみの助け合いで、被害者にあたたかい教済の手をさしだすべく、明るい家庭それに伴い交通事故数もなきの状況です。これらの交通事故により不幸な事故が発生し、そのうち死者五名負傷者三九三名という痛ましい状況です。

火災や救急車は普通電話……一九番農集電話……〇一一九番



母と子の交通安全教室ひらく

練習する園児たち

この機会に一件でも幼児のいた

ましい事故をなくしたいのです

これが「新規開通について

電話(2)〇九一一番

い。

